

「まちの駅」の設置で来街者がホッと一息つける空間を実現

南 関 町 商 工 会

機関名	南関町商工会			
所在地	熊本県玉名郡南関町関町1500-1			
電話番号	0968-53-0120			
地域概要	(1)管内人口	1万2千人	(2)管内商店街数	1商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	1商店街	(2)会員数	64商店
	(3)空店舗率	17%	(4)大型店空き店舗数	0店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成14年度 空き店舗対策事業

商店街インフォメーションの機能と、貸しギャラリーなど住民の憩いの場、新規開業（ミニチャレンジショップ）の場として利用

総事業費

3,376千円

【事業実施内容】

1. 背景

南関町の商店街内には大小様々な空き店舗・空き地が目立ち、特に上町・栄町などでは、まとまった空き地が見受けられる。また、中心市街地の密集地帯は住宅や倉庫などの非商業施設が混在し、商店街を低下させる要因となっている。

空き店舗の主な要因としては、後継者不足、業績不振があげられるが、買い物客の周辺市町への流出や、郊外の共同店舗（ビックオーク）の立地による影響も大きいものと思われる。

南関町では、平成11年度策定した南関町中心市街地活性化基本計画にもとづき、12年以降、商工会においてTMO等が実施すべき事業等について、研究を行ってきた。そして、その事業構想の事業の1つに「空き店舗対策事業」を掲げ、平成14年度実施することとなった。



玉名郡南関町の位置
（「南関町商工会ホームページ」より）

南関町商工会

2. 事業内容

町の中心市街地関町商店街にある食品スーパー跡空き店舗（亀崎商店：売場面積82.5㎡）を、商工会が借りあげ、改装を行い「まちの駅ゆた〜と」を2002年9月8日にオープンさせた。そして、同施設では下記の事業を実施した。



（「平成14年度熊本県魅力ある商店街づくりソフト支援事業」より）

まちの駅ゆた〜と

(1) ミニギャラリーと憩いの場

町の文化協会や南関高校、地域で手芸品・工芸品などを手懸ける人々に依頼して、各作品等の展示や実演などを行う。

石井了介版画展をはじめとして、南関町窯元小岱焼の展示、南関高校生による美術工芸展、日本画や洋画などの絵画展、生け花、パンの花、アメリカンフラワー等作品展、ちぎり絵や押し花展など、約2週間ごとに展示品を入れ替え、15回の展示を実施した。

併せて商店街を訪れた買物客や住民などの休憩の場、交流の場として活用してもらうことを目的に、コーヒーやお茶の無料サービスを行った。



ミニギャラリー～パンの花作品展（左）と押し花二人展（右）

(2) インフォメーション

- ①商店街の商店案内や、町観光施設などの紹介
- ②パソコン2台を使用し、商工会ホームページやインターネットによる情報提供の場として活用した。
- ③ビデオプロジェクターを使い町のイベントや祭事（関所まつり・ぎおんまつり）、名所旧跡、観光施設（西南の役史跡、古小代の里、大津山公園）などを紹介。
- ④町紹介パンフレット配布や広報紙（ゆた〜と）の発行。

⑤来店者への「まちの駅」に対するアンケート調査を実施。

(3) ミニチャレンジショップ

新規開業者の準備の場として活用するため開業予定者を募集し、実施した。まず、竹炭製品販売開業者が準備の場としてスタートしたが、売上が上がらず10月半ばで退去、次に玉名市より整体マッサージの開業を目指しての入店があり、試験的に毎週月曜日の営業を開始し、まちの駅を訪れる女性や高齢者の人達に好評であったが、これも個人の都合により1月末日で退去となった。

その後、町内の竹細工職人による実演販売や木工品、南関町窯元（小袋焼）の作品展示販売、パッチワークやちぎり絵、押し花作品、パンの花、手作り石焼きパンや手作りジャム、緋の小物・衣料品などのイベント販売と、チケット前売り券の取扱いなどを行うと同時に、広報紙や防災無線等により随時入店者の募集を行ったが、入店には至らなかった。

【効 果】

商店街でも活性化に取り組むうえでは重要な場所に位置する空き店舗を活用できたことで、銀行・郵便局、うらか館などの利用者はもとより、商店街事業者、一般消費者や地区の住民の商店街活性化への意識向上が図られた。

(1) ミニギャラリー

町内に点在する名士の人々の手による立派な作品を、2週間ごとに入れ替えて実施できたことで、大変好評のうえ出展者関係の家族や友人・知人などが空き店舗を訪れるきっかけに繋がり、一般町民の当該事業に対する関心が高まった。

(2) インフォメーション

パソコンのインターネット利用者やビデオプロジェクターによって町の紹介ができたことで、うらか館利用者や大規模リゾート施設セキアヒルズ来訪者などがまちの駅を訪れて、商店街にて町内の史跡や特産品等の紹介ができた。また、各地区の祭りやイベントなど一般町民からのビデオ提供があり、インフォメーションとしての効果が果たせた。

(3) ミニチャレンジショップ

新規開業の準備の場所として活用することを目的として実施したが、採算性や入店者の事情により短期間（1.5ヶ月から4ヶ月程度）で退去となり、チャレンジショップ本来の目的を果たせなかったことは残念であった。町の窯元（小袋焼など）製品の商店街での共同展示販売の場所として提供できたのは初めての試みとなった。また、木工品、手作りパンや竹細工品の実演などによるイベント販売は好評であり、まちの駅の利用者が増えた。

【課 題 ・ 反 省 点】

(1) 平成14年度事業としては、店舗家賃や改装費用、またはパソコンやプロジェクター賃貸費用など、国・県や町の支援により、なんとか事業を遂行することができたが、本来空き店舗対策の店舗運営とは、自己負担による運営ができなければ解決したことにはならない。

(2) 資金負担については、収益が絡むものに関しては受益者負担や手数料徴収により実施、公共性の強い部分に関しては、町の支援などをお願いしながら今後も継続実施する。

- (3) 国・県や町の支援により一つの活性化の拠点となる場所ができたので、これを機会に南関町中心市街地の関町商店街の有効な空き店舗活用を研究し、賑わいを取り戻したい。
- (4) 14年度で行った事業内容の反省をもとに、アンケート調査の結果や意見などを資料として、地域住民や消費者がより便利で利用しやすい街の拠点となるように活用する。

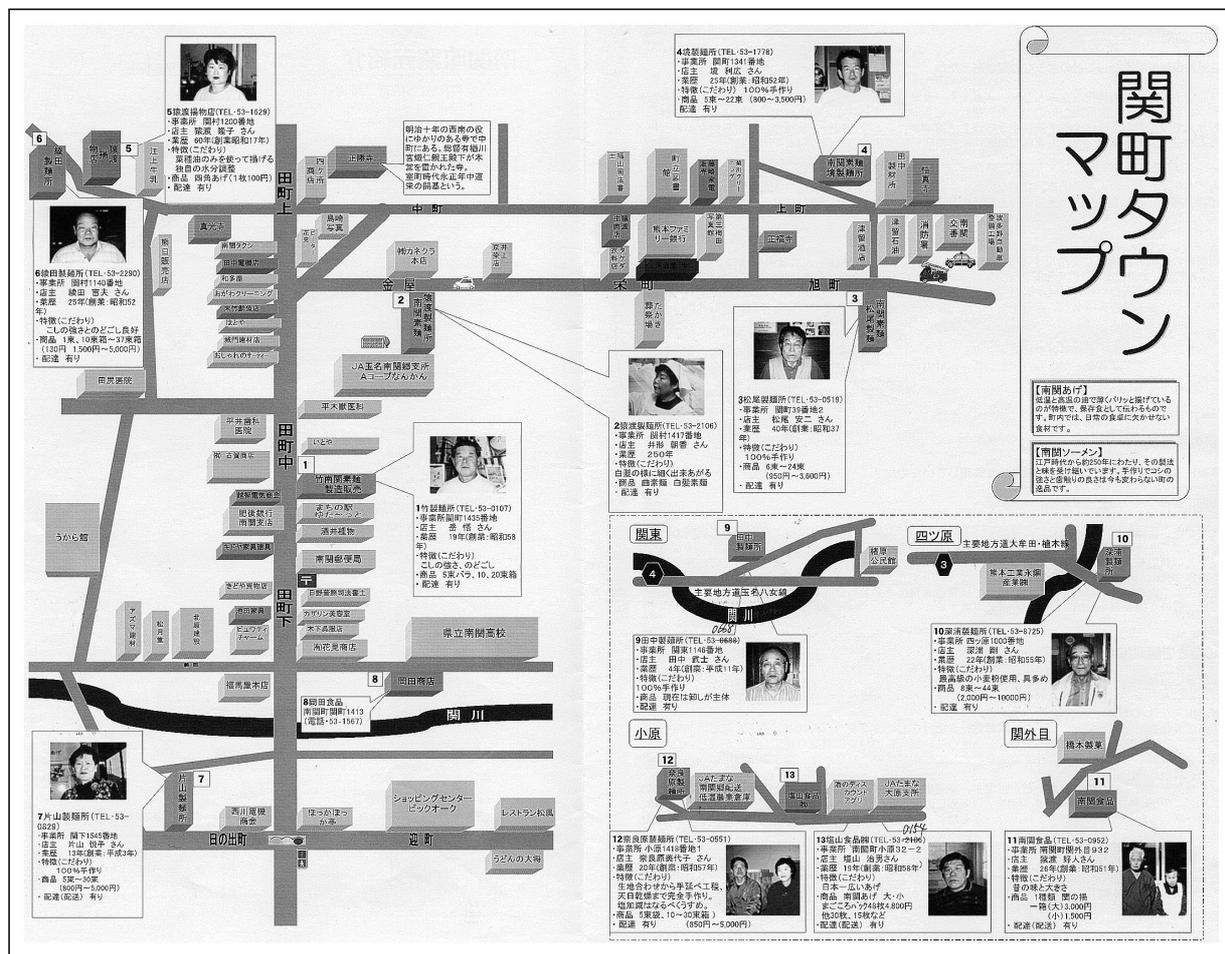
【教 訓】

空き店舗は、商店街活性化の拠点として、これからの高齢化社会に対応したシルバー人材センターとしての活用や、宅配事業などの利用も提案されている。

しかし、公共性の強い部分については収益を見込むことが厳しいため、創業の場所などに限らず、学習塾や会社事務所などとして活用できれば、空き店舗利用については解決していくと思われる。

【関 連 U R L】

南関町商工会 <http://www.kumashoko.or.jp/nankan/>



関町タウンマップ
 (「平成14年度熊本県魅力ある商店街づくりソフト支援事業」より)